

年頭所感

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、新たな変異株の発生など不透明な環境が続く中、新型コロナウイルス感染症に罹患されている方々や困難な状況におられる皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症が世界中の人々や私たちのビジネスに厳しい影響をもたらす中、全世界の社員が「Solidarity(連帯)」を合言葉に一丸となり、本業を通じたさまざまな取り組みを行いました。なかでも、マスクにつきにくいファンデーションや、マスクへの色移り防止と発色を持続させる口紅など、生活者ニーズの変化に迅速に対応した商品開発を行いました。また、正しい手指の消毒による感染予防と手洗いや消毒による手荒れを防ぐハンドケアの呼びかけを通じて、全国の医療従事者の方々に敬意と感謝の意を伝えるため「資生堂 Hand in Hand Project」を立ち上げ感染予防に取り組みました。さらに本プロジェクトを通じて、医療活動の支援を目的に対象商品の利益を公益社団法人日本看護協会に寄付しました。

昨年、中長期経営戦略「WIN 2023 and Beyond」を策定しました。当社は、「世界で勝てる日本発のグローバルビューティーカンパニー」を目指し、スキンケア領域をコア事業とする経営改革を実行し、2030年までにこの領域における世界 No.1 の企業になることを掲げています。その中で 2021 年は「変革と次への準備」の年と定め、事業ポートフォリオの再構築として、パーソナルケア事業のさらなる成長と発展を目指すための事業譲渡や、化粧品 の 3 つのブランドとフレグランスブランド等の構造改革を進めました。また、変化する市場環境に迅速に対応するデジタルトランスフォーメーション(DX)を加速させるため、合併会社を設立しました。今年は「再び成長軌道へ」の年と位置づけ、当社の強みであるスキンケア領域のブランド革新とマーケティングの集中強化を行い、グローバルな成長を目指します。

2022 年は、資生堂は創業 150 周年を迎え、さらに新たな未来を切り開くための一步を踏み出す「希望」の年となります。企業使命「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD」のもと、美の力を通じて社会の課題解決や発展に寄与するための大きな節目となり、環境問題やダイバーシティの実現という社会課題に対して、さまざまなイノベーションに積極的に取り組み、世界中の人々を美しく、笑顔に溢れ、希望に満ちた日々を創出して参ります。そして、生涯を通じて一人ひとりの健康美を実現する「PERSONAL BEAUTY WELLNESS COMPANY」を掲げ、美の力を通じて「人々が幸福を実感できる」サステナブルな社会を実現します。その取り組みとして、全世界約 4.6 万人の社員とともに経営ビジョンを考えるプロジェクトを発足し、社員と力を合わせて未来の資生堂を創ります。本年も皆さまのご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。